セカンドレベル・ミニストリー理事、
スタッフ、 佐藤先生ご夫妻、
スミスご夫妻(創始者)、
ヘレン・レイノルズ（前理事長夫人）

Second Level
セカンドレベル

Fall 2022

実を結び続けるクリスチャンとなるために

「それゆえ、あなたがたは行って、
あらゆる国の人々を弟子としなさい。」
（マタイ28:19）

20周年記念集会 「代々にわたる神様の誠実さ」

2022年6月に、神様の偉大さとこれまでの働きを思いめぐらし、セカンドレベル・ミニストリーの20周年を祝うことができました。記念式にご参加くださった皆様、またこれまで御国の働きのために尊い一部となってくださった皆様に心より感謝申し上げます。 今後も、キリストの弟子造りのために、協力して主にお仕えしていけることを願っています。
証やビデオは、このページからご覧になることができます。**https://secondlevel.org/20th/**

佐藤岩雄牧師による20周年記念集会でのメッセージ

セカンドレベル・ミニストリーの20周年を心からお慶び申し上げます。実は、昨年2021年が、私自身が牧師の按手を受けてから２０年の節目となる年でした。そのような自分の歩みと重なるようにして考えると、皆様の２０年の歩みの中で、実に多くの出会いがあったことでしょうし、豊かな経験があったのだろうと想像しながら、他人事とは思えずに自分のことと照らし合わせて嬉しい気持ちでここに集わせて頂きました。主にある働きを２０年続けてこられた皆様に、３つのことについてお伝えしお祝いの言葉にしたいと願っています。

仕える者たちへの恵み

まず、最初に申し上げたいのは、このセカンドレベル・ミニストリーの働きに関わっている皆様に、奉仕している者にしか味わうことができない、神からの特別な恵みを味わって頂きたいと思います。ヨハネ福音書には、主イエス・キリストが最初の奇跡をされた「カナの婚礼」について書いてあります。主イエスは、この婚礼において、６つの水がめの水を葡萄酒に変えられました。宴会の世話役は、その葡萄酒を飲んで驚きました。そして花婿にこう言っています。2:10「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、人々が十分飲んだころになると、悪いのを出すものだが、あなたは良いぶどう酒をよくも今まで取っておきました。」と。それは、この宴会の世話役は、この葡萄酒がどこから来たのか知らなかったからです。そのように言われた花婿もきっと驚いたことでしょう。誰も、この葡萄酒がどこから来たのか知らなかったのです。聖書は、ここでとても短く、しかし、とても大事な言葉を伝えています。「2:9宴会の世話役はぶどう酒になったその水を味わってみた。それがどこから来たのか、知らなかった。――しかし、水をくんだ手伝いの者たちは知っていた。―」という言葉です。水を汲んだ手伝いの者たちでなければ知らない恵みがあったと聖書は伝えています。

このセカンドレベル・ミニストリーの２０年の働きの中で、多くの方々が、その素晴らしい働きの実りに与りました。セカンドレベル・ミニストリーの書籍が用いられて、豊かな信仰生活を送っておられる方も多いことです。なお言えるのは、その働きを裏で支え、祈り、汗を流し、労苦した皆さまでなければ味わうことができない恵みを、神は、必ず備えて下さっていると信じます。そういう意味で、まずスタッフの皆さまの労苦が労われ、皆さまでしか味わうことができない神の恵みを味わう時となって欲しいと願っています。

２０年という節目について

二つ目にお伝えしたいのは、２０年という時の流れが私たちに与えることの意味についてです。新約聖書の福音書、また、書簡が書かれ始めたのは、およそ紀元後５０年と言われています。これは、大きく言えば、主イエス・キリストの十字架と復活の出来事、また、あのペンテコステの日に聖霊が降ったという出来事から数えて約２０年後の出

来事だと言われています。それまでは、使徒たちも弟子たちも、地中海世界への宣教活動に全力で邁進をしていました。それから、２０年を経て、主イエス・キリストのご生涯について書かれた福音書を初めとして、教会の誕生と成長が書かれたそれまでの出来事を文章にまとめて後の世代に伝えるということに力を注ぐようになりました。

おそらく２０年というのは、そのような一つの共同体の営みの節目となる時なのではないでしょうか。それは、自分たちの歩みの歴史を振り返り、また、新たな思いをもって働きを充実させ、備えるという時なのでしょう。使徒の働きを読めば分かりますように、共同体の成長というのは、順風満帆の歩みとは程遠いチャレンジに満ちたものでした。主イエスを証するというギリシャ語（Martureo）という言葉が、殉教者という言葉の語源になるほどに、初代のキリスト者は迫害の中を歩みました。主イエスを証することは命の危険があると分かりながらも、彼らは復活の証人としての歩みを辞めずに、地の果てに至るまで福音を伝えました。その赤裸々な記録を、後世に伝えていったのです。ぜひ、セカンドレベルミニストリーの歩みにつきましても、この２０周年が、主の恵みを数える時であり、思いを新たにして、献身をしていく備えの時となりますように、と願っております。

次の世代の育成

最後に、３つ目にお伝えしたいのは、２番目のこととも関連しますが、聖書が伝えている教会の歩みの中で、使徒パウロが最後に行ったのは、次世代の育成ということです。信仰共同体の２０年、３０年、４０年という、長く続く歩みを考える中で、これは欠かすこ

講師：佐藤岩雄牧師
（ケンタッキー州ルイビル日本語教会）

セカンドレベル・ミニストリー
理事長　糟谷恵司

とができない視点でしょう。そして、まさにこの点で、セカンドレベルミニストリーの働きは、この主イエスの弟子をつくるという働きにフォーカスをしているというのは素晴らしいことです。パウロも地上での命の終わりを感じながら、最後に弟子づくりにその持てる力を注いだことを聖書は伝えています。

特にパウロが、期待をこめて育てたのはテモテでした。テモテの父親はギリシャ人であり、母親はユダヤ人でした。いわばテモテは、国際結婚の両親のもとに生まれた、二つの文化、二つの言語をギフトとして持つ若者であったのでしょう。パウロは、彼がギリシャ社会だけではなく、ユダヤ社会でも受け入れられるように、あえて割礼まで施しています。彼はやがてエペソ教会の牧師となります。その時にパウロは、具体的な牧師としての心構えやアドバイスを書いたテモテへの手紙を二通書いています。人を育てること、弟子達がキリストの証ができる者へと整えること、これがパウロの最後のミニストリーでした。 テモテのような人物が教会の次の世代の指導者として選ばれたことは、聖霊の力により、福音が文化や言語の壁を越えて広がっていく事実を明確に伝えています。

私は、このセカンドレベル・ミニストリーの働きが、文化や言語の壁を乗り越えて伝えられていくのだろうなと期待しています。そして、福音を伝える方々が、これからも数多く起こされ、整えられていくことを共に期待して祈ってまいります。私たちに与えられた福音は昨日も、今日も、明日も変わることはありません。しかし、それを受け取る社会は大きな変化を経験しています。その意味で、これまでのセカンドレベル・ミニストリーの豊かな実りを受け継ぎ、更に新たな時代に向けての働き人が、ここからも起こされていくようにお祈りいたします。主イエスの豊かな祝福が、セカンドレベル・ミニストリーの働きの上にありますように。

20周年記念式に続いて、2022年度のメンターシップ・カンファレンスは、6月にジョージア州アトランタで行われました。クリスチャンとしての成長と弟子造りやメンタリングに重荷を持つ約60名が集まりました。佐藤先生のメッセージやワークショップ講師達、またその他トレーニングや交わりを通しても互いに励ましを受ける機会となりました。

2022 Mentorship Conference

Theme: Overflowing

"My cup overflows." Psalm 23:5
「私の杯はあふれています。詩篇23：5

証－「あふれる恵み」2022年メンターシップカンフェレンスに参加して

わたしは現在、ISIという留学生向けキャンパスミニストリーで学生リーダーとしてNYの日本人学生へ伝道している大学院生です。学校ではカウンセリングを専攻しており、ミニストリーの現場においてこのカウンセリングのノウハウが伝道、弟子訓練、また霊的な励ましのためにどのように用いていただけるか祈り求めてきました。また、自身もISIではメンティーとしてメンターシップを受けつつ、個人伝道として新クリスチャンや求道中の友人たちをフォローアップするメンターとしての働きも続けています。このように個人レベルで、またミニストリーチームとしても働く中で、より深いレベルでの霊的成長を励ますメンタリングに思いが与えられ、今回のカンファレンスへの参加を決めました。また現在、今後の進路を祈り求める中でどのような働きに主が私を召しておられるのか思い巡らしており、このカンファレンスを通して神様がどのようなビジョンを私にお与えになるのか、期待しつつアトランタへ向かいました。

カンファレンスでは集会、ワークショップ、また参加者の皆さまとの個人的交わり、それぞれでたくさんの出会いと学びに恵まれましたが、特にセカンドレベル・ミニストリーの指標聖句である'第二テモテ2章2節が心に留まりました。「多くの証人たちの前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。」このメンターシップ・カンファレンスに参加する1週間前にカリフォルニアで行われたリーダーシップトレーニングに参加していたのですが、そこでもこの同じ第二テモテ2章2節が語られ、立て続けに２つのカンファレンスを通してこの箇所から語られました。弟子訓練の大切さを説いたこの箇所ですが、心に留まったのには２つの理由があります。1つは、弟子造りの連鎖を起こしていくビジョンをはっきりと示されたことです。

また、この3連続の2という数字には個人的に深い意味もあります。私のクリスチャンであった母方の祖母は1995年の阪神淡路の震災で天に召されました。私はその翌年1996年の祖母と同じ誕生日、2月22日、午後2時22分、2220gで生まれました。この私の誕生日を取り巻く2にまつわる神様のユニークで不思議な業、祖母を失った家族の悲しみから私の誕生までの慰めと癒しの過程、私の中では3連続の2というのは単なるラッキーナンバーのような数字ではなく、主の御計画と臨在へと私を招く数字です。この2つの理由から、祈り求めてきた私の今後の道が開かれたように思いました。「弟子訓練をすることのできる弟子を作る弟子訓練」が今私に示されている働きだと感じました。

西村日和

またカンファレンス中のワークショップとメインセッションにおいても、この弟子造りの働きのために必要な信仰の姿勢やポイントについて語られました。ワークショップでは、私の専攻であるカウンセリングに直結する霊性ケアのための牧会カウンセリングを学び、カウンセリングの働きとメンタリングはとても似ていると感じました。メンターはメンティーに寄り添い、関係を築き、そして成長を助け導く役割を担っています。そしてこれはカウンセラーとクライアントとの関係においても適応されることだと思わされました。そして人に寄り添い仕える時、私たちの小さな内なる器を常に神様に満たし続けていただかないことには、私たちのこの小さな器から相手に愛を注ぐことはできないということ、私の内に溢れる主の愛が流れ出て周りにも愛を伝えていくのだということ、これはミニストリーをする上でとても大事なことだと改めて教えられました。

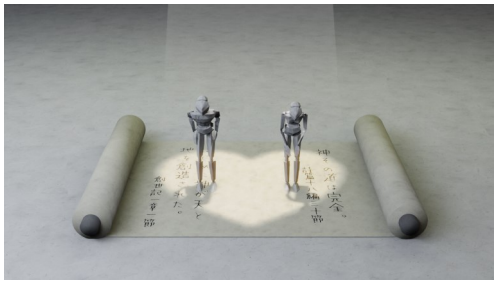
弟子訓練・弟子作りの明確なビジョンと召名、そしてそのために必要な神様からの愛の豊かな充足の体験、今の私に必要な語りかけを受けたメンターシップ・カンファレンスでした。奨学金を持って私をこのカンファレンスに送り出してくださったISIの私のメンター、そして素晴らしい交わりと学びの機会を準備してくださったセカンドレベルの皆様、そして何よりも全てを備えてくださった主なる神様に感謝します。

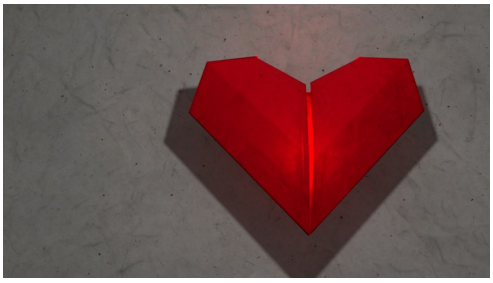
アニメーション版『ファーストレベル』

『ファーストレベル 』の**アニメーション版**が公開されました！「ファーストレベル: 再会への道 」は、5つの重要なトピックからなる、福音を中心としたストーリーです。「神とは、人とは、罪とは、イエスの十字架とは、救いとは」というテーマに沿って、福音を中心とした会話をもたらすことができるツールです。（すべての内容は、まだクリスチャンでない方々のために作成されています。またスチャンたちが福音を伝える伝道のツールとして用いて頂けます。）

個人的に会話を導きながらこれらを利用していくことが最も望ましいです。各トピックにあるアニメーションを一緒に見たあと、書かれている内容に沿って福音の本質的な部分についてゆっくりと話し合ってください。あなた自身の証を分かち合ってください。さらに深い説明が必要な場合、後部付録も用いていただけます。神様が彼らの霊的な旅を「ファーストレベル」から「セカンドレベル」という、キリストの弟子とされていく歩みへ導いてくださるように祈りましょう。

FirstLevel.org





スタッフ近況

新しい理事とスタッフが加えられました！

ブルース・ブランリー（理事）

ブルースは、1953年日本で宣教師として働いていたウォーリーとヘレン・ブラウンリーの間に東京で生まれた。大学進学のために渡米するまで、北海道と東京で育つ。UCLAを卒業後、ハワイ、東京、テキサス州ダラス、ミシガン州アナーバーで41年間、さまざまなビジネスに従事する。1977年にイエスに献身的に従い、キリストの似姿に変容されながら、イエスとの愛を深め続けている。ブルースはスージーと結婚して42年になる。3人の子供と8人の孫がいる。

鈴木直子（ソウルケア・アシスタント）

愛知県在住。2013年に受洗。
2018年に開催された大阪でのメンターシップ・カンファレンスに参加。その後、実行委員としてカンファレンスに関わる。自身もセカンドレベル・ミニストリーのソウルケアを通して多くの霊的気づきと信仰の励ましを受け、クリスチャンとして健全な霊性と人格形成を目指す大切さを実感している。現在は伝道師として教会に仕え、開拓にも携わる。 夫と息子、娘の4人暮らし。

石原利恵（協力主事）

20歳の時留学先のハワイでイエス様に出会い受洗。その後、大阪、香港を経て現在タイ在住。受洗後教会から離れてしまう人たちへの重荷があり、具体的な働きを祈り求めていた時に2016年にセカンドレベルと出会う。また、私自身親の離婚を経験した心の傷の棚卸しとセルフイメージの回復に取り組み、神様の偉大な愛を素直に受け取れるようになった体験を通して、他者も自分の傷に向き合い、神様との関係が深められるように励まし寄り添いたいと願っている。現在メンターとして霊的ケアを提供。2019年JTJ 宣教神学校卒業。現在リバーワーシップスクール受講中。

セカンドレベル・ミニストリー理事会
上列：ポール・クリス、ブラウンリー・ブルース、ラムジー・ボブ
下列：ポール真弓、糟谷恵司、バウマン・ゲリー

スタッフ募集

私たちのチームは、弟子造りのビジョンを共有し、共に奉仕できる仲間を募集しています。

弟子訓練ディレクター：弟子造りを促進し、聖書の学びをリードできる方。セカンドレベルのビジョン、価値観、関係性を重視したアプローチと思いが一致しておられる方。第一言語は日本語であること。
ソウルケアワーカー：特に弟子造りの価値観を理解しつつカウンセリングや心のケアを提供できる方。男女、国籍は問いませんが、日本人の救いとクリスチャンの霊的成長への思いがある方。
イベント・コーディネーター: カンファレンスやセミナーなどのイベント企画に携われる方。企画チームをリードし、チームビルディングを提供しながら弟子造りに想いがある方。運営能力とコミュニケーション力を必要とします。
グラフィックデザイナーと**ソーシャル・メディア・コミュニケーション**：興味と賜物によって相談要。

20周年パートナー募集キャンペーン　目標額400万円・ $40,440 (20 years x 2022)

このキャンペーンでは、主が83% の目標額を満たしてくださいました。ご参加くださった皆様、尊い捧げものを心から感謝致します。今後の主の働きにも、共に、大いに期待していきましょう。

1. 日本国内

郵貯銀行
記号14160　番号71120121
セカンドレベル　ミニストリー
三井住友銀行
枚方（ひらかた）支店
普通４３８２９５１

2. アメリカ国内

(小切手の郵送先)

Second Level Ministry
2841 Greystone Lane
Atlanta, GA 30341

3. その他　世界各地から

（クレジットカードにて）
paypal.com

送付先: :
dainidankai@secondlevel.org

Zelle オンラインバンキングもご利用になれます。
**** 米国における献金はすべて tax-deductible（課税控除の対象）です。***